

知多市新図書館基本計画（案）【概要版】

現行の中央図書館は、開館以来 40 年近くの年月が経過し、施設や図書館システムの老朽化、市民ニーズの多様化などの様々な課題が出てきています。また、今後の市の人口減少が予測される中、市では主要駅である朝倉駅周辺のにぎわい創出を図るため「朝倉駅周辺整備基本構想」を策定しており、この構想において、新図書館はにぎわいを創出する施設のひとつとしての役割も期待されています。

この「知多市新図書館基本計画」は、読書をはじめとした生涯学習の推進による、幅広い世代の健康で豊かな生活を実現していくため、市民意向調査や知多市図書館機能調査検討委員会の審議を経て、現行の中央図書館の課題、市民ニーズ、新図書館の基本方針、サービス、施設計画、事業計画等の概要をまとめたものです。

1 中央図書館の現状と課題

現状



開設：昭和 55 年
所在地：岡田字宝ノ脇
敷地面積：7,714 m²
延床面積：3,229 m²
蔵書数：約 30 万冊
開館時間：9 時～19 時

年間貸出人数：約 10 万人
年間貸出冊数：約 51 万冊

協力団体による活動の支援、小中学校との連携、子育て支援センター等との連携事業なども実施

市内 3 箇所のまちづくりセンター図書室とも連携

課題

1 施設の老朽化

- 建物の老朽化
 - ・雨漏り、外壁のクラック、トイレなどの設備の古さ
- 図書館システムの老朽化
 - ・災害時の障害に弱く、セキュリティ面も不十分

2 使い勝手の悪さ

- 多世代の利用者への対応、バリアフリーへの対応
 - ・授乳室等、子育て世代への対応設備が不十分
 - ・敷地に高低差があり、車いすの利用者等が利用しづらい 等
- スペースの有効活用
 - ・使用頻度が少ない 2 階ロビー等、有効活用できていないスペースがある一方、利用者がグループ活動をするスペースがない
- 滞在型の利用者への対応
 - ・長時間閲覧する利用者や、学習目的で訪れる学生・社会人等が存在するが、飲食スペースが小規模、閲覧・学習スペースの不足、電源が使用不可等、「滞在型」の利用者への対応が不足

3 図書館利用の推進

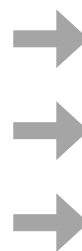
- ・貸出冊数および利用登録者数は近年減少傾向が続いており、市民の読書や学習活動の推進のため、利用者ニーズを取り入れた資料収集など、図書館利用の推進が必要

→ 部分的な改修等による対応は困難なため、
新図書館の整備によって各課題への対応を図っていきます

2 市民の意向

新図書館の機能については、市民の意向を反映したものとするため、市民意向調査としてアンケート調査、市民ワークショップ、図書館協力団体意向調査を実施しました。これらの結果も参考にしながら、新図書館の整備を実施していきます。

- 中央図書館の現状と課題
- 市民意向調査
 - ・アンケート調査
 - ・市民ワークショップ
 - ・協力団体意向調査
- 上位関連計画等



新図書館

- 基本方針
- サービス計画
- 管理運営計画
- 施設計画
- 資料収集計画
- 事業計画

3 新図書館の基本方針

(1) 位置づけ

● 現行の中央図書館機能は新図書館へ移転とします。

⇒ 新図書館は中央図書館の機能を継承し、知多市の図書館機能の中核として統括的な役割を持ち、八幡・東部・旭地区の各まちづくりセンター図書室、各学校図書室、歴史民俗博物館、市外公共図書館等との連携による図書館ネットワークを形成してサービスを提供していくこととします。

(2) 整備場所

● 新図書館は、朝倉駅周辺整備基本構想に沿って、複合商業機能と連携してにぎわいの創出を図るものとして、基本構想の計画対象地区の北街区に配置します。

● 図書館機能の中核を担う施設として多くの市民が利用することを考慮すると、主要鉄道駅や主要幹線に隣接し、交通アクセスに優れた場所である朝倉駅周辺は、新図書館の整備場所として適地といえます。北街区の具体的な位置については、周辺施設の配置の状況によって、今後柔軟に対応していきます。



(3) 基本理念と基本方針

新図書館は、下記の基本理念と基本方針のもと、整備を行っていきます。

基本理念 知をもとめ 多世代集う いこいの場

基本方針 1 とともに学び合い、知を育む図書館

図書館は、本をはじめとした多くの情報が集まる知の拠点です。これらの知を活用し、本を読んだり資料から情報を得て学ぶことは、有効な学習手段のひとつです。さらに、新図書館では、市民や市民ボランティアなどによる主体的な活動を支援し、講座や講習会への参画によって教え、教わることや意見交換を通じて、学びを深め、知を育むことができる図書館を目指します。

基本方針 2 多世代にやさしい図書館

図書館は、多くの人々が利用する身近な公共施設であるとともに、生涯学習のための重要な施設です。しかし、これまでの図書館は、子どもの声や足音を気にして、立ち寄りづらいと感じてしまう子育て世代の方たちもいたようです。そのため、新図書館は、世代によらず、すべての人が気軽に立ち寄り、気兼ねなく利用できる図書館を目指します。

基本方針 3 くつろぎと憩いの図書館

新図書館は、朝倉駅周辺に立地し、交通利便性が向上することから、学生の学習利用や会社帰りの社会人の利用の増加が予想され、多世代が長時間滞在できる機能へのニーズが高まると考えられます。また、市民アンケートにおいても、ゆったりとくつろいで過ごせる雰囲気のある図書館が求められています。これらのことから、新図書館は、家にいるようにゆったりとくつろいで過ごすことのできる、滞在型の図書館を目指します。

4 新図書館の計画

新図書館のサービス、管理運営、施設計画、資料収集計画等は、以下の方針のもと、実施していきます。

| サービス計画 | |
|---------------|--|
| 1) 貸出・返却 | <ul style="list-style-type: none"> ・貸出点数や貸出期間等は現行のサービスを継続 ・高齢者や障がい者を対象にした資料宅配サービス、まちづくりセンター図書室と連携した貸出・返却サービス等を継続 ・自動貸出機の設置台数の充実や自動返却機の設置を検討 |
| 2) 資料予約・リクエスト | <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる資料予約の利便性の向上のため、新たな図書館システムを導入 ・利用者自身で端末操作することにより受付に並ぶことなく予約本を受け取れる「予約本受取コーナー」の設置を検討 ・現行と同様、資料のリクエストを受け付け、可能な限り提供 |
| 3) レファレンスサービス | <ul style="list-style-type: none"> ・市民の課題解決に向けた図書館の対応力の向上を目指すため、調べ物相談の専用窓口の設置及び専門職員の配置を検討 |
| 4) ITサービス | <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書検索用端末及びインターネット用端末の設置台数の充実を検討 ・電源の充実や無料 Wi-Fi の整備 ・グループ活動室等の予約を行えるタブレット等の端末の設置を検討 ・電子書籍の導入を検討 |
| 5) 飲食スペースの導入 | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の一部のスペースに飲食可能なラウンジの設置を検討 ・一定のルールのもとで館内での飲食を可能にすることを検討 |
| 6) 運営の自動化の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な運営と利用者の利便性の向上のため、自動貸出機の設置台数の充実、自動返却機の設置、予約本受取コーナーの設置などの導入を検討 |
| 7) リサイクル本棚の設置 | <ul style="list-style-type: none"> ・除籍された図書[※]等を自由に持ち帰ることができる棚の設置を目指す |
| 8) 利用者別支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て世代、高齢者、障がい者、小・中学生（学校）、中高生（ヤングアダルト）・成人、学習目的の利用者（学生・社会人等）、ボランティア・グループ活動団体など、利用者別に支援内容を検討（個人学習スペース、グループ活動室、対面朗読室等の配置） |

※ 一定の基準に基づき、図書館の蔵書から外れた図書のこと。

| 管理運営計画 | |
|--------------|---|
| 1) 開館時間 | <ul style="list-style-type: none"> ・現行の図書館の開館時間（9時～19時）を延長し、9時～21時を目指す ← 駅を利用する会社帰りの社会人や学生の学習などの利用増加への対応 ← 閉館時刻の延長を希望する市民ニーズ（市民意向調査により把握）への対応 |
| 2) 開館日 | <ul style="list-style-type: none"> ・原則として現行の開館日を踏襲するが、今後、柔軟に検討 |
| 3) 民間活力の導入 | <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間の延長や運営の自動化など、新たなサービスや技術に取り組むため、民間等外部の専門知識・技術の積極的な活用を検討 |
| 4) 市民との連携・協力 | <ul style="list-style-type: none"> ・現行と同様、市民ボランティア団体の活動を支援し、連携・協力のもと運営を実施していくとともに、新たな市民ボランティアの養成も目指す |
| 5) 他の施設との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・現行と同様、各まちづくりセンター図書室、各学校図書室、歴史民俗博物館、市外公共図書館等と連携して図書館サービスを実施 ・にぎわい創出の観点から、朝倉駅周辺整備基本構想に位置づけされる新図書館周辺の商業施設等と連携 ・児童書スペースと近接して子育て支援施設を配置し、利用者が相互利用しやすい施設配置や運営方法の導入を目指す |

施設計画

(1) 建物規模

概ね 3,000 m²程度とします

- 「知多市公共施設等総合管理計画」に掲げる公共建築物の総量の適性化などの基本方針及び必要機能に要する施設面積を考慮して設定

(2) 蔵書数

目標値 30 万冊とします

- 新図書館は現行の中央図書館の機能を移転するもので、施設規模を考慮し、現行の中央図書館と同等程度の蔵書数を目標値に設定

(3) 開架書架と閉架書架の割合

閉架書架の割合を高めます

- 新図書館は、市民意向調査の結果等を考慮し、施設整備の基本方針として「多世代にやさしい図書館」や「くつろぎと憩いの図書館」を目指していくため、開架図書と閉架図書の割合は、ゆったりとしたくつろぎ空間の創出のため、資料収納力の高い閉架書架の割合を高める

(4) 駐車場規模

現行 (89 台) を上回る台数とします

- 朝倉駅周辺整備事業の全体的な駐車場計画の中で今後検討
- 北街区に立地するため、利用者の増加を見込み、現行を上回る台数を想定

(5) 駐輪場規模

現行 (250 台) と同等程度の台数とします

- 朝倉駅周辺整備事業の全体的な駐輪場計画の中で今後検討
- 駐車場と同様、利用者の増加を見込むが、現行、常時十分に余裕のある利用状況となっているため、現行と同等程度の台数を想定

資料収集計画

| | |
|-------------------|--|
| 1) 市民の課題解決を支援する資料 | ・ 知多市の図書館機能の中核施設であり、市民の生涯学習を支援する拠点施設として、各分野の資料を幅広く、バランス良く収集するとともに、特に、暮らし、仕事、子育て、教育、学習に関する資料など、市民の日常の課題解決を支援する資料を積極的に収集 |
| 2) 知多市の関連資料 | ・ 市域の郷土資料や歴史・文化に関する資料、郷土の歴史学者竹内理三氏をはじめとした市にゆかりのある人物の資料、行政資料、観光情報などに関する資料を積極的に収集 |
| 3) 世代別の資料 | ・ 多世代にやさしい図書館として、高齢者や視覚障がい者も読みやすい大活字本や録音図書、働き世代向けのビジネス書、小中学生の調べ学習に必要な資料、中高生向けの資料、子育て、教育に関する資料など、子育て世代向けの資料を積極的に収集 |

事業計画

(1) 事業手法の考え方

- 新図書館の施設整備・運営・維持管理においては、事業コストの削減や質の高い公共サービスの提供を図るため、PFI 方式などの公民連携による実施を視野に入れていきます。
- なお、新図書館の整備は朝倉駅周辺整備事業と連携して実施していきます。具体的な事業手法については、土地・建物の所有、コスト、事業期間、資金調達の主体などを十分に検討した上で、事業効果の最も高いものを選択します。

(2) 事業スケジュール

| | | |
|----------|---------------|---|
| 平成 31 年度 | ・ 新図書館基本計画の策定 | 新図書館の事業は、朝倉駅周辺整備事業の事業進捗に沿って、他の施設と連携・調整を図りながら実施していきます。現時点での事業スケジュールの予定は左記のとおりです。 |
| 平成 32 年度 | ・ 事業者公募 | |